

題材名「公正な税負担と国債」

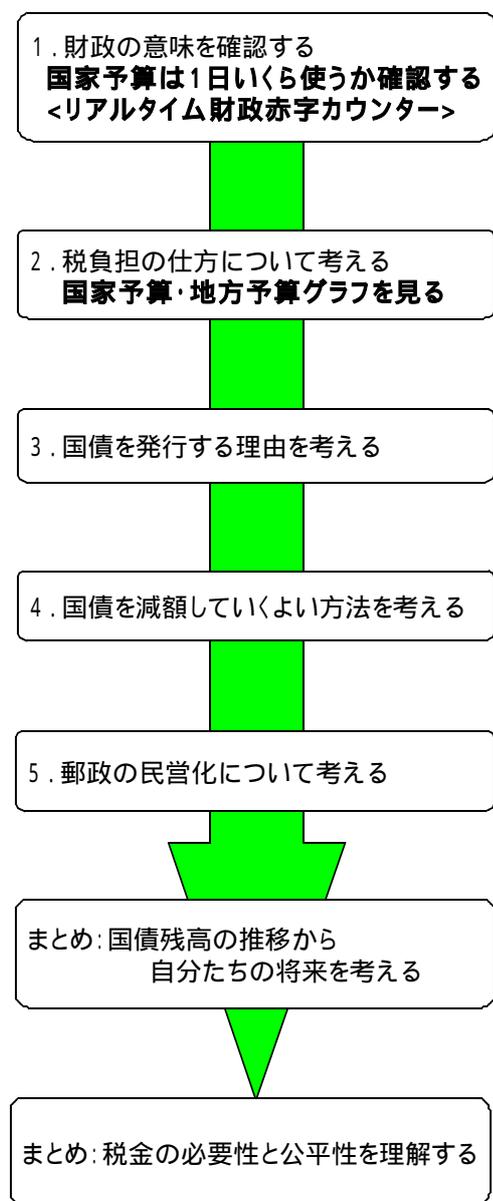
目 標

- ・ 租税の種類が分かり、公正な税負担がなされていることを理解する。
- ・ 財政にある景気調整の働きを理解し、公債多額発行の必然性や問題点を理解する。
- ・ 高齢化社会の到来と社会保障制度の課題を知り、介護保険制度について理解する。

コンピュータを活用する利点

授業で使用する「資料集」に掲載される数値データは、時間が経過し過ぎているものが多い。そのため実際のデータと乖離しているものがある。まず、最新のデータを知るという点ではコンピュータに勝るものはない。また、本校のPC教室のシステムは「スカイメニュー」というソフトを利用して、DVDやビデオ映像・静止画を瞬時に生徒機に送信することもできるので、調べ学習以外にも、教師のデータを提示することが簡単にできるため、授業を効率よく進めることができる。

授業の流れ



ICT活用場面

日本の財政事情を学習するにあたり、重要なポイントは「本当に赤字が増えているの？」という実感がないことである。これだけ社会は豊かだし、モノは溢れているし、給料も高いし、失業者も少ないし...等々の現象から、何をそんなに赤字財政と騒がないといけないのか、という考え方がある。国の財政政策が機能しなくなってきている危機的状況にあることを、国民が知らされずにいる。

このリアルカウンターを見ると、数秒ごとにその赤字金額が上昇していくのがハッキリと分かり、これだけ赤字が増えていると実感できる。そこで...



日本の国家財政に目を向ける。日本の国家予算を1日に換算すると「2,250億円」のお金が使われている。兵庫県では1億7500万円である。これは私たちの実生活とはかけ離れた金額である。このお金の使い道とこのお金がどこから生み出されるかをしっかり学習することが重要である。

成果と課題

財政赤字について生徒が「こんなに増えている！」と驚きの声を上げ、同時に国民一人当たりの借金額に頭を悩ませた。

国家財政のあり方を真剣に考えないと国が破綻するという結論に達した。また、政治のあり方や政治家の手腕に日本の運命がかかっているという結論に達した。今後の課題は、この財政赤字を少しでも減額するための政策について、協議しレポートにまとめてみたい。

ICT活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン32台
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	コンピューター教室

社会科(公民的分野)学習指導案

指導者 西田 浩二

1. 日時 平成18年 10月 18日(水) 第5校時

2. 学級 3年1組 (男子14名女子17名 計31名)

3. 題材 政府の仕事と財政 「税と国債」

4. 指導観 本題材は、生徒が生活している現実社会の学習で「経済」という生き物についての学習である。今、世の中は「郵政民営化」で大きく揺れている。政治学習を終え、法律の成立過程や衆議院解散など、机上で学習した内容が現実社会で次々におこり、真の学習ができた。そして、郵政民営化法案が参議院を通過し、新しい社会へと大きく一歩を踏み出そうとしている。この郵政民営化が財政赤字と関わっていることを、生徒は理解できていない。

本単元の指導においては、「財政の収入源である『税』とその収入不足を補うための『国債』」という2つの語句から、21世紀を生きる生徒に、納税者として、国家の担い手として「国民」がどうあるべきかを理解させることができる。インターネット等を活用しながら今現在も増え続ける国家の借金について考えさせることは意義あることと考える。

5. 目標

- (1) 租税の種類が分かり、公正な税負担がなされていることを理解する。
- (2) 財政には景気を調整するはたらきがあることを理解し、公債を多く発行していることの必然性や問題点を理解する。
- (3) 高齢者の割合が急速に高まる中で、社会保障制度のあり方についての課題をつかみ、介護保険制度について理解する。

6. 指導計画

- | | |
|-----------------------|---------|
| (1) 財政のはたらきについて理解する | 1時間 |
| (2) 税と国債について理解する | 1時間(本時) |
| (3) 景気の動きとその対策について | 1時間 |
| (4) 福祉の充実と生活環境の整備について | 1時間 |

7. 本時の目標

納税の意義を理解させ、公正な税負担のあり方について考えさせる。
インターネット資料から国債発行の問題点を読み取り、健全財政のあり方を理解させる。
郵政民営化と郵便貯金(財政投融资)と特殊法人無駄使いの関係について理解させ、21世紀を担う国民の納税について考えさせる。

8. 準備物

PCとスクリーンメニュー 高額納税者ランキング表 国債残高の図 Webページ一覧表

9. 本時の指導過程				
	学習項目	学習活動	指導者の支援	備考
導入	1 財政の意味を確認する 国家予算は1日いくら使うか確認する	公共的なサービスの内容を発表する 私たちの実生活とはかけ離れた金額であることを知る	今あるサービスだけでなく、将来して欲しい公共サービスは？ 普通のサラリーマンが一生働いて儲けるお金は？	老人介護 2億~2.5億
	2 税負担の仕方について考える	消費税が3%から5%になぜアップしたのか？ 最近の増税が予定されている物は？ 累進課税のしくみを知り公正な税負担のあり方を考える 有名人の税負担額が高いかどうか、具体的な事例で考える	税収入をアップさせたい間接税率を上げるため第3のビールとは、麦芽を使っていないビール味のアルコール飲料 累進課税を導入している意味を考えさせる 西田家家計の内情を知る	「関に心ついで欲評・価態度」
展開	3 国債を発行する理由を考える	国の歳入と歳出の様子から気づいたことを発表する 国債の歴史について資料から考える 国債の果たしてきた役割について考える 国債残高リアルカウンターを見る	税収入の不足分を補うために発行している 1973年のオイルショック以降に急激に増加している もし国債を発行しなければ経済はどうなっていたか なぜこんなに増え続ける...借金の利子に利子が付くから	「資料活用能力」 思考・判断について評価
	4 国債を減額していくよい方法を考える	近くの人と相談し意見をまとめる 特殊法人について知る 国の行財政改革とは、簡単に言うとは何をすることなのか	国債を発行しないで経済を活発にする方法は... 特殊法人が果たしてきた役割とは... 無駄使いをやめることが一番いい方法だということを知る	
まとめ	5 郵政民営化について考える	民営化になって良くなると思われることは何か 郵便貯金のお金は何に使われているのか調べる 「郵政民営化が改革の本丸」ということは、どういうことか？	はがきの形が変わる窓口業務が良くなる 郵便貯金の使い道 特殊法人 天下り 退職金 まだまだやらないといけない行財政改革があるということ	
		国債残高の推移から自分たちの将来を考える 税金の必要性和公平性を理解する	国は多額の借金をしてまでも国民の生活を保障してくれている 借金ではなく、国内需要と経済成長により税収を増やす 国民の要求が多すぎるのではないか？ 諸外国の税体系を知る	思考・判断について評価
10. 評価				
(1)納税の意義と公正な税負担について理解できたか？ (2)現実社会の出来事と机上学習内容がオーバーラップしそれらに関連させて意見を発表できたか (3)新聞やテレビのニュースに興味関心を示し、自分たちの支払った税金がどう使われているかを見定める目を養えたか				